

平成30年度 《教職員によるアンケート結果：7月期》

<p>(1) 学校教育目標・学校経営ビジョンに則り、その実現に向けて意欲的に職務を遂行している。</p>	<p>(2) 学校教育目標に則った活動方針や実践目標のもとで教育活動が実践され、評価と改善が絶えずなされている。</p>	<p>(3) 各教科の指導の重点をふまえて、年間指導計画及び単元ごとの学習指導計画が作成され、期日までに提出されている。</p>	<p>(4) 各教科の目指す基礎基本が明確にされ、徹底した基礎学力の習得と活用を高める指導が実践されている。</p>
<p>(5) わからせる授業、学ばせる授業を目指し、授業の創意工夫や改善がなされている。</p>	<p>(6) 生徒が意欲的、主体的に学習に取り組めるような指導方法の改善や評価規準を明確に設定した授業を展開している。</p>	<p>(7) 各教科の教材や教具の整備・開発・活用を創意工夫して充実させている。</p>	<p>(8) 国語科を軸として、全教科・領域の特性に応じた「言語力向上」を目指した研究実践が推進できている。</p>
<p>(9) C層からB層へ、B層からA層への学力向上への実践が指導と評価のもとで推進され、効果があらわれている。</p>	<p>(10) 評価・評定についての説明を生徒や保護者に適切に行っている。</p>	<p>(11) 学習確認プログラムは授業、その他の時間で効果的に活用できている。</p>	<p>(12) 始業前後の教室美化、椅子や机の整頓、黒板消しなど整然とした状態になるように指示できている。</p>
<p>(13) 始業時の号令や起立・礼が整然とできた状況で開始できている。</p>	<p>(14) 授業中の姿勢や態度、言葉使いなど授業規律が確立された状態で行っている。</p>	<p>(15) 授業開始時に欠席・遅刻・その他生徒の動向が把握できている。</p>	<p>(16) 道徳「学校・生徒・地域の実態に応じた指導計画のもとで計画的に実施し、指導資料等もきちんと保管されている。</p>
<p>(17) 道徳 規範意識や人権意識の高揚とともに、思いやりのある心情が育ち、行動化されつつある。</p>	<p>(18) 特活 年間計画に則り、ねらいと評価を明確にした月間指導計画を作成し、計画的に実施されている。</p>	<p>(19) 特活 学校行事や学年活動との効果的な関連を図りながら指導され、自主性、進路展望、社会性が育ってきている。</p>	<p>(20) 総合 目標や年間計画に則り、課題が系統的・発展的に実施され、他教科との横断的な関連も図りながら実践されている。</p>
<p>(21) 総合 総合学習委員会を中心に、学年相互の情報共有と共通理解のもとで運営されている。</p>	<p>(22) いじめ、いざずら、いやがらせ等を許さず、人権尊重を基盤にした判断や行動のできる生徒が育ってきている。</p>	<p>(23) 学校経営方針や生徒指導方針に則り、学校体制(チーム)としての組織的対応のできる生徒指導が実践されている。</p>	<p>(24) 指導系統が明確で、迅速な連絡と報告、情報の共有など全教職員が課題を把握して解決にあたる体制ができている。</p>
<p>(25) 子どもの思いを受け、生かす、自主自立を培う学級経営、生徒会活動、教科指導などで創意工夫した取組がなされている。</p>	<p>(26) 家庭や地域との信頼関係を強化し、個々の生徒の課題や背景を理解したきめの細かい指導がなされている。</p>	<p>(27) 関係機関、生徒指導課、SC等との連携のもとで、不登校生徒や生活に課題のある生徒への組織的な指導がなされている。</p>	<p>(28) 職務分掌重点目標、実践目標実現のために、日々評価と改善を重ねて業務の推進にあっている。</p>
<p>(29) 学校予算の状況を認識し、適切な計画と執行のもとで確実な事務処理が行っている。</p>	<p>(30) 各自の役割を認識し、いつも危機意識をもって対応できる準備や体制ができている。</p>	<p>(31) 教職員間、来校者への挨拶や礼儀、TPOに応じた服装、身だしなみ、対応が適切にできている。</p>	<p>(32) 教育公務員としての自覚、責任を持って職務を遂行している。</p>
			<p>(33) 「熱意・協働・創造・責任」を行動指針として、各自の役割を自覚した行動がとれている。</p> <p>(34) TPOに応じた服装、身だしなみ、対応が適切にできている。</p> <p>(35) 服務規定に係る連絡、事務処理は迅速かつ適切にこなされている。</p> <p>教職員アンケートにおいては、おおむねA、B評価が多くなっており、昨年度後期評価と比べて大きくは変わっていないが、特筆すべき(12)～(15)の授業規律についてはCが減りABが増えている。これについては毅然とした授業への取組姿勢と新たな授業形態(≡の字型学習にしたこと等)の効果も現れてきつつあるのかもしれない。また(25)・(26)のCが0になった。これは子どもや保護者との関係を丁寧に取り組んできた証である。気になった点は(11)「確認Pの活用」においてはCが15ポイント</p>